

各部（次）長
各課（局・室）長 殿

企画部長

令和9年度予算編成方針について（通知）

このことについて、富谷市財務規則（昭和50年富谷町規則第8号）第9条の規定に基づき、市長の命を受けて令和9年度予算編成方針を定めたので通知する。

1 日本経済の状況及び国の予算編成の動向

日本経済の状況は、内閣府が公表した直近の月例経済報告によると、景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢や自然災害の影響を注視する必要がある。先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢や自然災害の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要があるとされている。

国の予算編成は、令和9年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針について（令和8年7月30日閣議了解）によれば、令和9年度予算は「経済財政運営と改革の基本方針2026」（令和8年7月21日閣議決定）等に基づき、危機管理投資・成長投資をはじめ、国内投資を通じた潜在成長率の引上げにつながる施策を予見可能性を持って実施できるよう、通常歳出とは別に、『「強く豊かな日本」投資枠』を創設するとしている。要求・要望は賃金や調達価格の上昇を踏まえて行い、予算編成過程において、令和8年度予算から実現した「経済・物価動向等の的確な反映」を実現するとともに補正予算依存から脱却し恒常的な施策を当初予算に計上するため、適切に要求・要望し、歳出全般にわたり、施策の優先順位を洗い直し、予算の中身を大胆に重点化するとともに補助金・基金の自己点検結果を要求・要望に反映し、予算編成過程において精査するとされている。

2 富谷市の財政状況及び今後の財政見通し

本市の財政状況は、令和7年度決算においては、一般会計を含む全ての会計決算において黒字となり、財政健全化判断比率では早期健全化判断比率を大きく下回るとともに、公営企業会計の資金不足判断比率も算定されることなく、引き続き健全な財政運営が図られている。

今後の財政見通しは、歳入においては基幹的な歳入である市税収入が、転入人口や個人所得の増加などの要因により増加が見込まれる。一方、歳出においては、義務的経費である人件費、扶助費をはじめとする社会保障関連経費及び公債費の増加が見込まれるほか、公共施設の老朽化に伴う維持補修・更新経費の増加が見込まれる。

3 予算編成基本方針

令和9年度の予算編成では、このような財政見通しの中、的確な収入の見通しのもとで効率的に財源を配分していくとともに、これまでの行政改革の取組を踏まえ、限りある財源を最大限活用するため、事業の選択と集中を行い、市民ニーズに合致した政策効果の高い施策に取り組んでいくことを基本方針とします。

その上で、歳入確保と歳出削減に努めることとし、市債発行の抑制及び財政調整基金の取崩しの抑制にも留意しつつ、引き続き健全財政を推進するため、以下の内容を踏まえ、適切な予算要求を行うこと。

- (1) 総計予算主義の原則に基づき、令和9年度中に見込まれるすべての歳入・歳出を漏れなく予算に計上すること。また、物価高騰による価格転嫁についても適切に見積もること。
- (2) 経常経費については、原則一般財源ベースで前年度当初予算額を要求限度額とすること。
- (3) 行政改革における事務事業サマーレビューを踏まえるとともに、他市町村の状況を確認するなど、ゼロベースの視点に立ち、予算を見積もること。
- (4) 事業の必要性、緊急性、事業効果などから優先順位を付け、将来の財政負担も十分考慮しながら適切に要求すること。特に公共施設の修繕については長寿命化計画を踏まえ、市民の安全性や利便性を第一に考慮し、真に必要な場合に絞って、しっかりと優先順位を設けて検討すること。
- (5) これまでの議会对応、監査委員からの指摘事項についても漏れなく検討を行い、決算不用額の精査、事業効果・成果を精査した上で要求すること。
- (6) 歳入については、住民サービスの安定的な維持のため、自主財源の確保に努めるとともに、国庫支出金、県支出金について、国・県の予算編成の動向を注視するとともに、補助制度の新設や変更に的確に対応し、確実な財源の確保に努めること。また、新たな歳入確保策についても積極的に検討すること。
- (7) 特別会計・企業会計についても、編成方針に沿って編成すること。また、基準外の繰出しについては、その必要性を改めて検討すること。

4 総合計画の着実な推進

「住みたくなるまち日本一 ～100年間ひとが増え続けるまち～」の実現に向けて、令和8年度からスタートした第2次富谷市総合計画に定める18の重点施策を中心に据えつつ、各施策を着実に推進すること。併せて引き続き不断の行政改革の取組みを推進すること。